

施策No.	政策名	魅力と活力のある産業社会づくり	主管課	商工観光課	主管課長名	鈴木 政俊
503	施策名	観光の振興	関係課	農林課、都市整備課、企画課		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	的	桜川市に訪れる観光客	①1都、6県の人口	千人	見込値			42,003	42,005	42,006	42,008	42,010	41,940
実績値					42,326	42,420	42,337	42,619	42,688	42,792	43,046	43,115	
見込値													
実績値													
四季を通じて観光客に訪れてもらう		④成果指標設定の考え方	①観光客入り込み客数	人	目標値			620,000	625,000	400,000	405,000	410,000	415,000
					実績値	380,500	614,800	385,500	333,600	367,100	339,600	353,700	337,200
					目標値			6,000	10,000	11,500	12,000	12,000	12,000
					実績値	12,607	11,002	6,716	11,573	11,808	14,761	13,880	9,845
					目標値			80,000	90,000	100,000	110,000	115,000	120,000
					実績値	101,567	111,387	100,121	111,097	81,505	101,513	101,437	100,846
					目標値			420,000	430,000	200,000	205,000	210,000	215,000
					実績値	206,394	415,276	139,833	145,159	181,169	164,604	148,712	141,200
成果指標の把握方法と算定式等	○四季を通じて観光客に訪れてもらうために、①観光客入り込み客数と、代表的な集客地②「やすらぎの里利用者数」③「真壁街並み(ひなまつり含む)客数」④「雨引観音客数」を指標とした。 ○対象の「1都、6県の人口」は、関東地区の人口。人口問題研究所推計から年別の人口を推計。 ・①観光客入り込み客数は、「茨城の観光レクリエーション現況」から。※22年度の614,800は、雨引観音での調査時に観光客が多かった影響による。 ・②やすらぎの里利用者数は、やすらぎの里の利用者実績数を記入。 ・③真壁街並み(ひなまつり含む)客数は、観光客動態調査(行祭事・イベント調査の真壁のひなまつり)＋街並み案内ボランティア(年間案内人数＋ひなまつり期間中案内人数合計)数を記入した。												

2. 施策の役割分担と状況変化

役割分担	1)住民(事業所、地域、団体)の役割(住民や地域、行政と協働でやるべきこと)	2)行政の役割(市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)
	○桜川市の歴史的な文化遺産や自然環境に誇りと関心を持ち、自ら学び、地域の観光資源の活用について考える。 ○来訪者に対する出会いの機会やおもてなしの心を育む。 ○地域のイベントなどに積極的に参加する。 ○来訪者に誇れる清潔で美しいまちづくりに努める。 ○観光を地域産業振興として育成していくことに対して、関心と理解を高めるよう努める。	○市民や観光客の意向調査に努め、つくばエクスプレスや北関東自動車道を活用した観光振興施策を検討する。 ○市民に対し、桜川市の歴史的な文化遺産や自然環境に誇りを持ってもらう機会を用意し、観光資源を育成していくことに対して、市民の合意形成を図る。 ○筑波山周辺地域の行政機関との連携を強化し、地域情報のPR充実を図る。
状況変化	3)施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は今後どのように変化するか?	4)この施策に対して住民、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	○北関東自動車道を利用し、東北方面、1都6県から市内へ訪れる観光客増が見込める。 ○1都6県の人口は微増傾向にある。 ○団塊の世代が引退し、観光需要が増える。 ○健康づくりへのニーズが高まり、登山、ハイキング、サイクリング客が増加する傾向にある。 ○23年4月にバス路線が完全に廃止になった。 ○震災から4年が経過し真壁地区の歴史的建造物の修復がだいぶ進んできた。 ○茨城空港が開港し、路線も増便され観光客の増加が見込まれる。 ○流鏝馬競技会(4月上旬)が行われるようになった。 ○山桜や桜川の桜が雑誌や新聞、テレビで取り上げられるようになり、観光客もだいぶ増えてきている。 ○雨引観音の本坊(事務所、休憩室、宝物展示、展望室)が整備された。雨引観音では今後概ね10年をかけて、裏山をサクラ公園として整備していく予定。 ○筑波山地域ジオパーク推進協議会が設立され、地域振興策が増えた。 ○観光協会が平成25年5月31日に一本化され、ホームページも立ち上がり、観光・物産両面で市内外へ情報を発信しつづける体制が整った。 ○まち・ひと・しごと事業を活用したシャトルバス運行により、誘客数の増加が見込める。	○住民の観光に対する期待度は、総合計画策定時の満足度・優先度意向調査でみると、中位より下に位置しているという状態である。現在、市内には観光産業というものはなく、生計は観光に依存していない。 ○観光協会を社団法人化して体制を整え、観光を市の産業として位置づけるようにしたいという声がある。 ○議会から観光大使の設置や桜川市のB級グルメ案について進めてはどうかという意見がある。

3. 基本事業の目的と指標

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
①観光PRの強化・充実	市内を訪れる観光客	桜川市を知ってもらう	観光客入り込み客数	実績値 人	614,800	385,500	333,600	367,100	339,600	353,700	337,200
②観光資源の充実・開発	イベント、観光資源	イベント、観光資源を充実し、多くの方に訪れてもらう	桜川市で行われているイベントへの参加者数、来場者数	実績値 人	153,000	142,500	162,000	135,500	155,500	154,000	154,000
③近隣自治体との連携	近隣自治体	近隣自治体と連携がとれ、観光資源のネットワーク化が図られている	連携している取組み数	事業	3	3	4	5	5	5	5

4. 施策のコストの実績(施策を構成する事務事業シートより積算)

施策のコスト	項目	単位	26年度実績		27年度実績		28年度実績	
①本施策を構成する事務事業の数	①本施策を構成する事務事業の数	件		32		32		19
	②施策事業費(一般財源以外)	千円		12,474		1,489		5,000
	③施策事業費(一般財源)	千円		44,082		41,154		42,520
	④施策事業費の計(②+③)	千円		56,556		42,643		47,520
	⑤施策人件費(事務事業の人件費合計)	千円		18,935		15,429		19,635
	⑥計(④+⑤)	千円		75,491		58,072		67,155

5. 施策に関連する主要事業等

関連する事務事業	区分	事務事業名	摘要
	主要事業		観光資源PR事業
事務事業		観光協会運営支援事業	H27貢献度上位、H28優先度上位
事務事業		真壁のひなまつり支援事業	H27貢献度上位、H28優先度上位
事務事業		上野沼やすらぎの里管理運営事業	H27貢献度上位
事務事業		りんりんロード利活用促進事業	H27貢献度上位
事務事業		真壁高上町駐車場管理運営事業	H27優先度上位

施策番号	503	施策名	観光の振興	主管課	商工観光課
------	-----	-----	-------	-----	-------

6. 施策の成果水準とその背景・要因

1)-①現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	
背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客入り込み客数は、ほぼ横ばいに推移している。 ・上野沼やすらぎの里キャンプ場利用者は年によって増減があるが、約1万人の利用者を確保している。 ・雨引観音は毎年10万人以上の観光客が訪れている。 ・真壁のひなまつりは、茨城の春を代表する祭りとして定着し、毎年約10万人が訪れている。 ・近年は、ヤマザクラを見に来る観光客が増加している。 ・りんりんロードの再整備が行われ、サイクリング客が増加傾向にある。 ・H28年9月、本市を含む筑波山地域が日本ジオパークに認定された。 		

1)-②成果目標の達成状況

実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてが上回った	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った
	<input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input checked="" type="checkbox"/> すべての成果指標で目標値を下回った
背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> ①観光客入り込み客数は伸び悩んでおり、目標値415,000人に対し実績値337,200人と目標値を下回った。 ②やすらぎの里利用者数は目標値12,000人に対し実績値9,845人と目標値を下回った。 ③真壁の町並み(ひなまつり含む)客数は目標値120,000人に対し実績値100,846人と目標値を下回った。 ④雨引観音客数は目標値215,000人に対し実績値141,200人と目標値を下回った。 ・桜川市の観光客入り込み客数はほぼ横ばい状態であり、また、市内で行われたイベントへの来場者数も横ばいである。 ・近隣自治体と連携している取り組み数は5事業である。 		

2)他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか低いのか、その背景・要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりかなり高い水準である	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりどちらかといえば高い水準である	<input checked="" type="checkbox"/> 他の自治体とほぼ同水準である																				
	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりどちらかといえば低い水準である	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりかなり低い水準である																					
背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣自治体(筑西市・結城市)と比較すると、昨年度、桜川市の入込客数は減少しているが、30万人を確保している。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">近隣自治体の入込客数状況</th> </tr> <tr> <th></th> <th>28年度(人)</th> <th>27年度(人)</th> <th>増減(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜川市</td> <td>337,200</td> <td>353,700</td> <td>-16,500</td> </tr> <tr> <td>筑西市</td> <td>421,900</td> <td>371,000</td> <td>50,900</td> </tr> <tr> <td>結城市</td> <td>164,900</td> <td>139,200</td> <td>25,700</td> </tr> </tbody> </table>			近隣自治体の入込客数状況					28年度(人)	27年度(人)	増減(人)	桜川市	337,200	353,700	-16,500	筑西市	421,900	371,000	50,900	結城市	164,900	139,200	25,700
近隣自治体の入込客数状況																							
	28年度(人)	27年度(人)	増減(人)																				
桜川市	337,200	353,700	-16,500																				
筑西市	421,900	371,000	50,900																				
結城市	164,900	139,200	25,700																				

3)住民の期待水準との比較(住民の期待よりも高い水準なのか 同程度なのか、低いのか)、その他の特徴は?

実績比較	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりかなり高い水準である	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりどちらかといえば高い水準である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の期待とほぼ同水準である
	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりどちらかといえば低い水準である	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりかなり低い水準である	
特徴・背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤマザクラやひなまつりなどにより、市民の観光に対する関心度は高まってはいる。 		

7. 総合計画後期基本計画(H24~28)の振り返り

区分	これまでの取組成果
施策全体	<ul style="list-style-type: none"> ・観光パンフレット、ホームページ、フェイスブックを活用し、観光PRの充実を図った。 ・観光資源の整備と相互の連携を図り、新たなイベントや観光資源の充実に努めた。 ・他自治体と連携し、共同事業や合同キャンペーンを展開した。
基本事業	<ul style="list-style-type: none"> ①観光PRの強化・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページやフェイスブックを活用し情報発信の強化した。 ・観光パンフレットのリニューアル、ヤマザクラ・真壁の町並みを紹介する個別観光パンフレットを作成し、桜川市の魅力をPRした。 ・マスメディアや観光キャンペーンを積極的に活用し、観光PRを充実させた。 ・観光協会のホームページを活用し物産等のPR強化に取り組んだ。
	<ul style="list-style-type: none"> ②観光資源の充実・開発 <ul style="list-style-type: none"> ・国指定名勝『桜川』や国指定天然記念物『桜川のサクラ』、高峯の山桜、真壁の町並み、雨引観音などの観光資源の連携を図ってきた。 ・イベントの主催団体や市民団体等を積極的に支援し、組織体制を強化した。 ・真壁のひなまつりにおける交通手段を確保した。 ・H28年度につくばりんりんロードの再整備が行われ、新たな観光客の誘致を開始した。
	<ul style="list-style-type: none"> ③近隣自治体との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣自治体が加入している協議会等を活用し、イベント会場や観光案内所での合同PR活動を推進し、観光資源のネットワーク化を展開した。 ・筑波山地域が平成28年9月に日本ジオパークに認定され、大地を活かした新たな観光客の誘致活動を開始した。 近隣自治体との連携:水郷筑波国定公園協議会、筑波ブロック広域観光連絡協議会、茨城県自然歩道利用促進協議会、笠間・吾国・愛宕県立自然公園連絡協議会、筑波山周辺ジオパーク推進協議会